

デカボトル

DECABOTTLE

DECARBONIZATION ART

脱炭素アートプロジェクト

廃棄用の
ペットボトルを
利用して
大きなペットボトル
を作ったよ！



愛媛愛。
やけん、
デカボ。

河原デザイン・アート専門学校
グラフィックデザイン専攻 / イラスト・雑貨デザイン専攻

特設サイト
「愛媛愛。やけん、デカボ。」



制作コンセプト

「ぼやけた未来、ぼやけない意識」

ペットボトルでできた「デカボトル」の中に入ってみると、
外の世界がぼやけて見えます。

外側から見ると、中に入った人がぼやけて見えます。

安易にプラスチック製品を使い続け、廃棄し続ければ
いつか私たちの未来もデカボトルのように
不透明なものになります。

今こそ環境問題について考え、行動をはじめませんか。
マイボトルを持参する、ペットボトルをリサイクルする。
環境に配慮した行動を選択していけば
ぼやけない未来が待っているのではないのでしょうか。

企画意図

愛媛県は脱炭素社会に向けて脱炭素（＝デカボナイゼーション）を
推進する啓発活動を積極的に行っています。

その一環となる“デカボアート”として企画したのが
使用済みペットボトルをリサイクルした「デカボトル」です。

この趣旨に賛同した河原デザイン・アート専門学校の
学生たちとのコラボレーションで制作。

今年2月8日に、松山市の三越前・大街道商店街で
開催された「えひめ愛顔のデカボ商店街」にて発表を行いました。

当日、展示したデカボトルには来場者に自由に出入りしていただき、
デカボアート自体を体感し、楽しんでもらう。

同時に、中に入っている様子を
撮影した写真をSNSにアップしてもらえよう、
さらなる啓発につながる仕掛けづくりにも取り組みました。